

# 取り扱い説明書

本取り扱い説明書は保証規定に関する記載があります。  
紛失しないように保管してください。



miniRITE R

Oticon Opn S  
Oticon Opn Play  
Oticon Ruby

Made for  
iPhone | iPad | iPod

oticon  
life-changing technology

## 製品について

本取り扱い説明書は、Oticon Opn S、Oticon Opn Play、Oticon Rubyファミリー製品群の以下の補聴器モデルとスタイルに対応しています。

### FW 8

- |  |                           |
|--|---------------------------|
| <input type="checkbox"/> Oticon Opn S 1    | GTIN: (01) 05707131374967 |
| <input type="checkbox"/> Oticon Opn S 2    | GTIN: (01) 05707131374974 |
| <input type="checkbox"/> Oticon Opn S 3    | GTIN: (01) 05707131374981 |
|  |                           |
| <input type="checkbox"/> Oticon Opn Play 1 | GTIN: (01) 05707131374998 |
| <input type="checkbox"/> Oticon Opn Play 2 | GTIN: (01) 05707131375001 |

### FW 1

- |  |                           |
|--|---------------------------|
| <input type="checkbox"/> Oticon Ruby 1 | GTIN: (01) 05707131378491 |
| <input type="checkbox"/> Oticon Ruby 2 | GTIN: (01) 05707131378507 |

上記モデルはそれぞれ下記のスピーカーに対応しています。

- 60スピーカー
- 85スピーカー
- 100スピーカー (パワー型)
  
- モールド付スピーカー 100 (パワー型)
- モールド付スピーカー 105 (パワー型)

## 取り扱い説明書について

この取扱説明書では補聴器の使用方法や取り扱い方法を説明しています。補聴器の機能を最大限に活用いただくためにも『注意事項』の項目を含めて、この取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。

この補聴器は、販売店担当者によってお客様の聴力や使用方法に合わせて設定されております。ご質問またご不明の点については、お買い上げの補聴器販売店担当者へお尋ねください。

| 製品について | ご使用前に | 取り扱い | オプション | 耳鳴り | 注意事項 | 追加事項 |

この取扱説明書を活用いただくために、本取扱説明書には項目別の目次がついています。この取扱説明書は大切に保管ください。

## 使用に際して

使用用途	補聴器は音を増幅し耳に届けます
使用上の注意	軽度から高重度の難聴に対応します
対象ユーザー	成人及び36か月以上の子ども
使用環境	屋内並びに屋外
禁忌事項	体内埋め込み型インプラントをご使用の場合は、補聴器を使用する際、特別に注意が必要です。詳細は注意事項を参照ください。
臨床的ベネフィット	生活の質（QOL）を向上する目的で、より楽なコミュニケーションのために、より良い言葉の理解を提供する設計をしております。

### 重要なお知らせ

補聴器は、補聴器の専門家、また補聴器販売に関わる専門スタッフによってお客様の聴力及び個別の条件にあわせたフィッティング（補聴器の調整過程）によって調整及び最適化を行う管理医療機器です。

## ご使用前に

### 充電

充電は毎晩行ってください。

補聴器のLEDが赤色/オレンジ色に点灯している時は充電中、緑色に点灯している時はフル充電を意味します。

完全充電まで約3時間要します。

### 電源のオン/オフ

充電器から補聴器を外すと、補聴器の電源が自動でオンになります。充電器に補聴器をセットすると、補聴器の電源が自動でオフになります。

補聴器を充電ポートにセットしてある時は、必ず充電器を外部電源に接続した状態にしてください。充電器の電源がオフになると、補聴器の電源がオンになり電池を消費し始めます。

## 目次

### 製品について

ミニRITE R補聴器と対応スピーカー及びイヤピース	10
ミニRITE R	12

### ご使用前に

充電時間	14
電池のパフォーマンス	15
補聴器の電源のオン/オフ(充電器を使用)	16
補聴器の電源のオン/オフ(プッシュボタンを使用)	17
充電容量低下の通知	18
補聴器の左右表示	19
補聴器の装着のしかた	20

### 取扱い

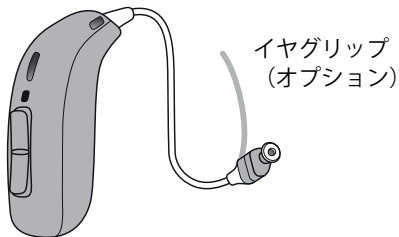
お手入れ	22
標準的なイヤピースの交換	24

## 目次

ミニフィットプロワックス	26
オーダーメイドイヤピースのお手入れ	28
プロワックスフィルターの交換	29
補聴器の保管	30
機内モード	32
<b>オプション</b>	
オプション機能とアクセサリ	34
音量調節	35
プログラムの切り替え	36
消音	37
iPhone及びiPadに接続して使用するとき	38
外部機器とのワイヤレス接続	40
<b>耳鳴り</b>	
耳鳴りサウンドサポート (オプション)	42
サウンドオプションおよび音量調節	44
使用時間の制限	47

<b>注意事項</b>	耳鳴りサウンドサポートに関する注意点	50
	注意事項	52
<b>追加事項</b>		
	トラブルシューティング / 故障と思われるときの対処法	60
	より良い聞こえのための7つの簡単なステップ	64
	防塵・防水対応について(IP68)	68
	動作環境について	69
	保証とアフターサービス	70
	国内保証	72
	国際保証	74
	性能一覧表	76
	補聴器の設定	94
	通知音とLED表示	96

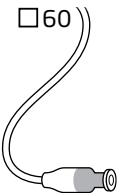
## ミニRITE R 補聴器と対応スピーカー及びイヤピース



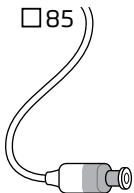
ミニRITE補聴器は以下のスピーカーのいずれか1つを装着して使用します。

標準的な  
スピーカー

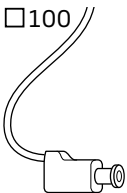
60



85



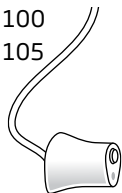
100



ミニRITE用  
パワー  
モールド付  
スピーカー

100

105



スピーカーには以下のイヤピースのいずれかを使用します：

標準的なイヤピース：



オープンドーム



ベースドーム、シングルベント



ベースドーム、ダブルベント



パワードーム



グリップチップ\*

\* 2つのサイズ (S/L)、左用、右用、  
ベントの有無が選べます

オーダーメイドイヤピース：



マイクロモールド



ライトチップ

ドームのサイズ



6 mm



8 mm



10 mm



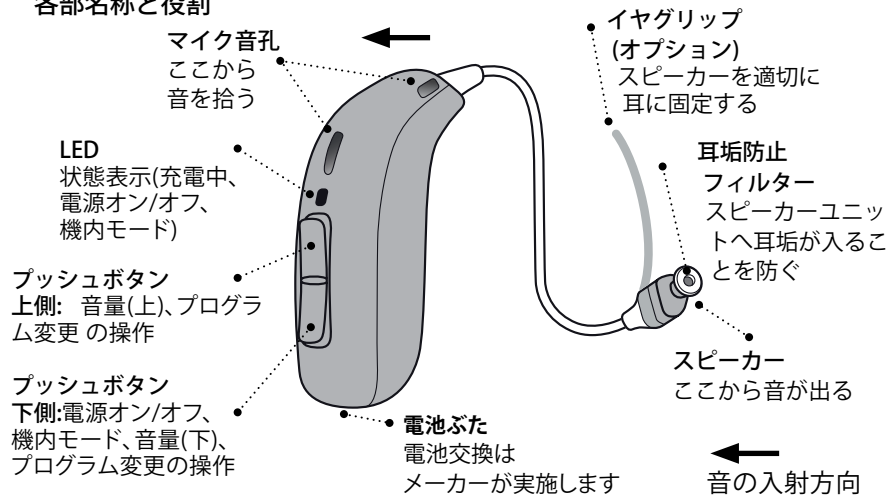
12 mm\*

\* オープンドームに当該サイズの用意はありません。

ドーム又はグリップチップの交換については  
「ドーム又はグリップチップの交換」をあわせて  
参照ください。

## ミニRITE R

### 各部名称と役割



## 充電時間

初めて充電式補聴器を使用する場合は、必ずフル充電してください。

補聴器を毎晩充電してください。そうすることで、フル充電された状態で補聴器を使用できます。

完全放電の場合の標準充電時間は下記のとおりです:

3 時間	1 時間	0.5 時間
フル充電	50% 充電	25 % 充電

フル充電になると、自動的に充電プロセスを終了します。補聴器を使用しない時は補聴器を充電器にセットしたままにしてください。その際には、充電器を外部電源に接続した状態にしてください。

充電時間は充電電池の電池残量によって変化し、補聴器の左右で充電時間に差異が生じる可能性があります。

充電器の使用方法については、充電器の取り扱い説明書を参照ください。

## 電池のパフォーマンス

電池のパフォーマンスは、使用状況や補聴器の設定により左右されます。

TVや携帯電話、コネクタクリップからの音声ストリーミングは電池パフォーマンスに影響を与えます。

補聴器が電池切れになった場合は、再度充電するため補聴器を充電器にセットしてください。その状態で再起動しようとしても稼働しません。

室温+10°C~+35°Cが最適な充電環境です。

もし、電池が一日の使用分に足りなくなってきたら、電池交換の時期の可能性がります。お買い求めの販売店にご相談ください。



## 補聴器の電源のオン / オフ(充電器を使用)

充電器から外すと、補聴器の電源が自動的にオンになります。

6秒後補聴器のLED表示が緑色に点灯すると起動します。起動音が聞こえます。

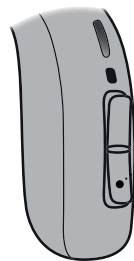
充電器にセットすると補聴器の電源が自動的にオフになり、充電を開始します。充電中は補聴器のLED表示は赤色 / オレンジ色に点灯します。

### 重要なお知らせ

補聴器を充電ポートにセットしてある時は、必ず充電器を外部電源に接続した状態にしてください。充電器の電源がオフになると、補聴器の電源がオンになり電池を消費し始めます。

## 補聴器の電源のオン / オフ(プッシュボタンを使用)

プッシュボタンを操作して補聴器の電源オン / オフの切替ができます。



### 電源オン:

下側のプッシュボタンを約2秒間押し続けてください。ボタンから指を離し、補聴器のLEDが緑色に点灯するまで少しお待ちください。緑色に点灯すると補聴器が起動します。起動メロディが聞こえます。

### 電源オフ:

下側のプッシュボタンを約3秒間押し続けてください。補聴器のLEDが赤色 / オレンジ色に点灯し、4回通知音が聞こえます。ボタンから指を離してください。

「通知音とLED表示」を参照ください。

## 充電容量低下の通知

充電容量が低下してくると3回短いビープ音が鳴ります。これは、補聴器の充電残量が2時間程度になると30分毎に繰り返します。充電残量が無くなる直前に4回ビープ音が鳴ります。

音声ストリーミング(TVや携帯電話などから)を使用している場合は、充電残量が1時間程度になると、3回短いビープ音が鳴ります。ストリーミングの使用を止めると充電電池使用時間が長持ちします。

### 電池容量低下警告(3回)

= 電池残量が少なくなっています



### 電池交換警告(4回)

= 電池残量が完全になくなっています

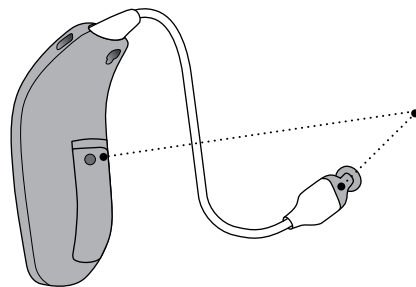


### LED表示(オプション)

赤色/オレンジ色の点滅を継続的に繰り返す=電池残量が少なくなっています。

## 補聴器の左右表示

補聴器は、左右の耳で設定が異なることもあり補聴器の左右をきちんと見分けることが大切です。右耳用と左耳用を見分けるために補聴器本体の電池ぶた上に左右表示がついています。さらに、60及び85スピーカーについてはスピーカー本体上、また100スピーカー及びその他イヤピース本体上でもそれぞれ左右表示を確認いただけます。



赤の印は補聴器が  
右耳用であることを示す

青の印は補聴器が  
左耳用であることを示す

## 補聴器の装着のしかた

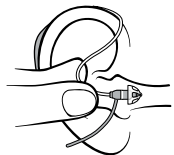
### ステップ 1



補聴器本体を耳の後ろにかけてください。

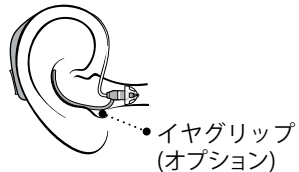
スピーカーは必ずイヤピースを装着して使用します。必ずお客様の補聴器に合ったイヤピースをご使用ください。

### ステップ 2



親指と人差指でスピーカーワイヤーの湾曲した部分をつまみます。イヤピースは外耳道に向かってまっすぐ挿入してください。

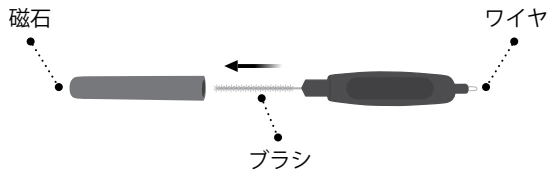
### ステップ 3



スピーカーのワイヤーが耳の付け根に沿うように、イヤピースをやさしく耳に押し入れてください。補聴器にイヤグリップがついている場合には上記の図の通り耳の溝に入れてください。

## お手入れ

マルチツールは、クリーニングと耳垢の掃除のためのブラシとワイヤを内蔵しています。新しいマルチツールが必要な場合は、お求めの販売店にお問い合わせください。



### 重要なお知らせ

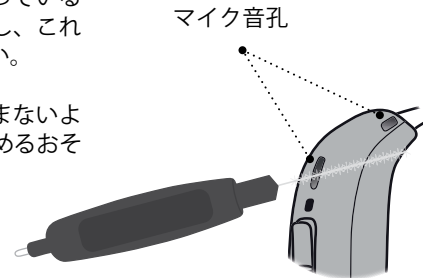
マルチツールは磁石を内蔵しています。クレジットカードや磁石の影響を受ける恐れがある機器類からは最低30cm離して保管してください。

補聴器を取り扱う際には、落として壊してしまわないように椅子に座るなどして、表面のやわらかいものの上で行ってください。

### マイク音孔のお手入れ

マイク音孔がゴミや汚れなどでつまっているときはマルチツールのブラシを使用し、これらの汚れをそっと取り除いてください。

無理にマルチツールを奥まで差し込まないように気をつけてください。補聴器を傷めるおそれがあります。



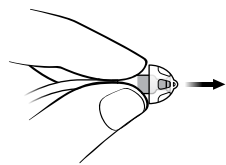
### 重要なお知らせ

補聴器のお手入れには、やわらかく乾いた布をご使用ください。補聴器本体を絶対に水や液体で洗ったり、浸したりしないでください。

## 標準的なイヤピースの交換

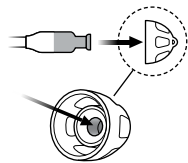
ドームとグリップチップは洗淨しないでください。イヤピースは簡単に交換できます。汚れたり古くなってきた際には、交換してください。グリップチップは最低でも1か月に1度を目途に交換してください。

### ステップ 1



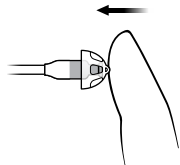
スピーカーを持ちながら爪の先などでイヤピースの付け根をつまんで、引っ張って外してください。

### ステップ 2



新しいドームをミニフィットコーダチューブにしっかりと押し込んでください。

### ステップ 3



イヤピース類が落ちないように必ずしっかりと奥まで押し込んでください。

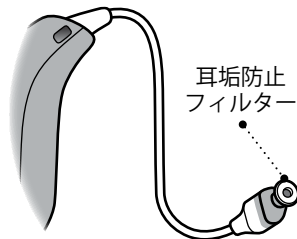
### 重要なお知らせ

補聴器を外した際にドーム類がついていない場合は、外耳道にドームが残っている場合があります。対処については、耳鼻科医また補聴器販売店へご相談ください。

## ミニフィットプロウックス (耳垢防止フィルター)

スピーカーにはイヤピース側の端に白い耳垢防止フィルターが付属しています。耳垢防止フィルターはスピーカーを耳垢やごみによる損傷から保護します。フィルターが詰まったら、耳垢防止フィルターを交換するか、またはお求めの販売店にお問い合わせください。

イヤピースを取り外してから耳垢防止フィルターを交換してください。

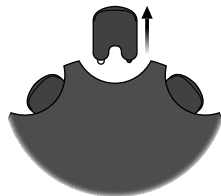


### 重要事項

耳垢防止フィルターは販売店でご相談の上ご購入ください。耳垢防止フィルターの使用や交換についてのお問い合わせはお求めの販売店にお問い合わせください。

## ミニフィットプロウックスフィルターを交換するとき

### 1. ツールを取り外す



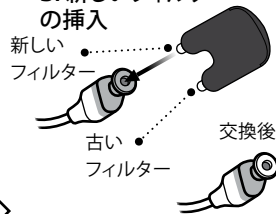
ケースからツール部分を取り外します。ツール部分には2種類のピンがあり、古いフィルターを取り外すための空のピンと交換用フィルターの取り付けられているピンがあります。

### 2. 古いフィルターの取り外し



空のピンをスピーカーに取り付けられている古いフィルターに押し付け、引き抜きます。

### 3. 新しいフィルターの挿入



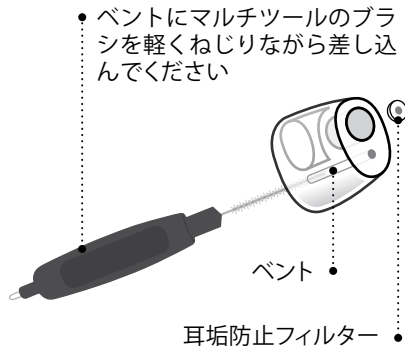
新しいフィルターが付いている側のピンを挿入し、新しいフィルターを装着してください。装着後ツールを引き抜きます。

## オーダーメイドイヤピースのお手入れ

イヤピースは定期的にお手入れしてください。

イヤピースには補聴器を耳垢やゴミによるダメージから守るため白い耳垢防止フィルター\*が付いています。

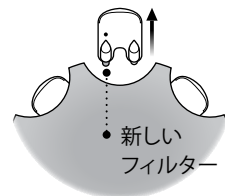
フィルターが詰まっているとき、また補聴器の音がおかしいときは専用の耳垢防止フィルターを交換してください。又は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。



\* ライトチップには耳垢防止フィルターがついていません

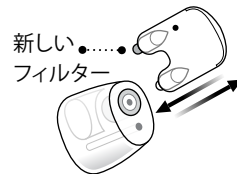
## プロックスフィルター(耳垢防止フィルター)の交換

### 1. ツールを取り外す



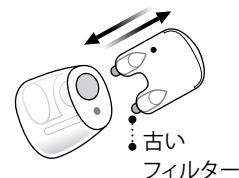
ケースからツール部分を取り外します。ツール部分には2種類のピンがあり、古いフィルターを取り外すための空のピンと交換用フィルターの取り付けられているピンがあります。

### 2. 古いフィルターの取り外し



空のピンをモールドに取り付けられている古いフィルターに押し付け、引き抜きます。

### 3. 新しいフィルターの挿入



新しいフィルターが付いている側のピンを挿入し、新しいフィルターを装着してください。装着後ツールを引き抜きます。

## 補聴器の保管

充電器は補聴器の保管場所として最適です。補聴器を使用しない時は必ず補聴器を充電器にセットした状態にしてください。常にフル充電の状態で使用することができます。

充電池の寿命を長持ちさせるために、過剰に高温な環境に補聴器をさらさないでください。補聴器を充電器にセットした状態だとしても、日向の窓際や炎天下の車内などに放置しないでください。

### 重要なお知らせ

補聴器を充電ポートにセットしてある時は、必ず充電器を外部電源に接続した状態にしてください。充電器の電源がオフになると、補聴器の電源がオンになり電池を消費し始めます。

### 長期間の保管 (数週間、数ヶ月)

長期間(14日以上)補聴器を使用せず保管する前に、フル充電してください。その上で補聴器の電源をオフにしてください。この処置をした場合は、再び充電が可能です。

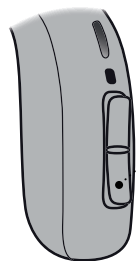
充電池保護のため、6ヶ月毎に充電してください。6ヶ月以内に充電しない場合は、充電池を交換してください。電池交換はメーカーが実施します。お買い求めの販売店へご相談ください。

充電器への補聴器のセット方法は、充電器の取り扱い説明書を参照ください。



## 機内モード

機内モードのオン/オフを切り替えるには、プッシュボタン(下部)を7秒間押し続けてください。



**通知音:**補聴器に4回ピープ音が鳴った後に続けて4回ピープ音が鳴ります。この通知音が鳴ったら機内モードがオンまたはオフになります。

**機内モードオンの際のLED表示:**赤色/オレンジ色にゆっくり点滅した後緑色、赤色/オレンジ色、赤色/オレンジ色の点滅します。緑色、赤色/オレンジ色、赤色/オレンジ色の順で点滅を数回繰り返します。上記表示で機内モードオンが確認できます。

**機内モードオフの際のLED表示:**赤色/オレンジ色にゆっくり点滅した後、緑色にゆっくり点滅を2回繰り返します。上記の表示で機内モードオフが確認できます。

片方の補聴器で機内モードオンの操作をすればもう片方も同時に機内モードオンになります。

機内モードをオンにした場合、Bluetooth®通信が使用できません。通常の補聴器の機能は引き続き作動します。

「通知音とLED表示」を参照ください

## オプション機能とアクセサリ

本ページ以降に記載されている機能並びに、アクセサリ類はオプションとなります。補聴器のプログラム設定については、お買い上げ販売店にお尋ねください。

聞き取りが難しい場面を経験された場合には、目的別プログラムの設定が効果的な場合もあります。これらの設定は補聴器専門スタッフによって調整されます。

サポートが必要な聴取環境があれば記入してください。

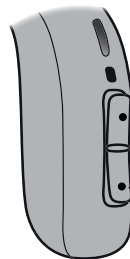
---

---

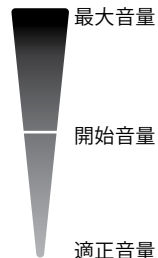
---

## 音量調節

補聴器のプッシュボタンを操作して補聴器の音量を変更することができます。音量を上下させるとピッと音が鳴ります。



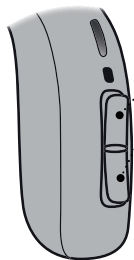
- ボリュームを上げるには上側のボタンを押します。
- ボリュームを下げるには下側のボタンを押します。



## プログラムの切り替え

お買い上げの補聴器は4つまでのプログラムを設定できます。プログラムの設定は補聴器専門スタッフが行います。プログラム切り替え時に、プログラム番号に応じて1回～4回通知音が鳴ります。

「通知音とLED表示」を参照ください。



● 上下のボタンでプログラムを切り替えることができます。

上側のボタンを押すとプログラムが進み(例:プログラム1→プログラム2)、下側のボタンを押すとプログラムが戻ります(例:プログラム4→プログラム3)

## 消音

補聴器からの音をオフにしたい場合は、消音機能を使用します。下記のオプション機器で消音にすることができます:

オーティコンONアプリ  
コネクタクリップ  
リモートコントロール3.0

### 消音機能をオフにする方法

消音機能をオフにするには上記アプリまたは機器で操作するか、補聴器のプッシュボタンの上部または下部を短く押してください。

### 重要なお知らせ

消音機能を電源オフの代わりとして使用しないでください。  
消音機能では、音が出なくても電池は消耗します。

## iPhone及びiPadに接続して使用する時

お買い上げの補聴器はMade for iPhone®であり、iPhone, iPad® または iPod touch®にワイヤレス通信で接続します。

補聴器とアップル社製品とのペアリングのサポートに関しましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



互換性についての情報は下記を参照ください。  
please visit [www.oticon.global/compatibility](http://www.oticon.global/compatibility)

“Made for Apple”バッジとは、電子アクセサリがApple社製品への接続専用に設計された製品でありApple社の性能基準に適合していることをデベロッパが認定済みです。Apple社はこの補聴器の動作及び安全性・規制基準の適合に関する責任はありません。

iPod、iPhone、またはiPadと当該アクセサリを使用すると、ワイヤレス性能に影響が生じることにご注意ください。

## 外部機器とのワイヤレス接続

お買い上げの補聴器には、ワイヤレス機能が搭載されており、ワイヤレスでさまざまな外部機器と接続することができます。日常生活の多くの場面でよりよい聞き取りやコミュニケーションをサポートします。

### コネクタクリップ

携帯電話とペアリングして、補聴器をハンズフリーヘッドセットとして使用できます。リモートマイクとしても使用することができます。

### テレビアダプター3.0

テレビアダプターはテレビやその他オーディオ機器の音声を補聴器に直接届けます。

### リモートコントロール3.0

補聴器のプログラム切り替えと音量調節、消音を行うことができます。

### Oticon ON アプリ

補聴器を直感的に、目立たずに操作できます。iPhone, iPad, iPod touch, アンドロイドスマートフォンに対応しています。

### テレコイル

テレコイル対応電話や、ループシステムを採用した建物(映画館、教会、講堂など)で聞き取りをサポートします。上記マーク又は類似のマークのある場所ではテレコイルが採用されています。



### Eduマイク

教室などでの聞こえをサポートするワイヤレスリモートマイクシステムです。

### CROS

(Oticon Opn S 1、Opn S 2、Oticon Opn Play 1、Oticon Ruby 1、Ruby 2向けオプション) 一側性難聴の方向けソリューションです。オーティコンCROSは不良聴耳側の音を良聴耳に装用している補聴器に届けます。

詳細な情報は[www.oticon.global](http://www.oticon.global)を参照するか、お求めの補聴器販売店にお問い合わせ下さい。

Apple、Appleロゴ、iPhone、iPad、iPod touchは、米国その他の国で登録されたApple Inc.の商標です。App StoreはApple Inc.のサービスマークです。Android、Google Play、Google PlayのロゴはGoogle LLC.の商標です。

## □ 耳鳴りサウンドサポート (オプション)

### 耳鳴りサウンドサポートの使用目的

耳鳴りサウンドサポートは、耳鳴り対処・治療の一環として耳鳴りに悩む方を対象に一時的な耳鳴り緩和のための音を発生させる機能です。

使用の対象者：18歳以上の成人

耳鳴りサウンドサポートは、難聴および耳鳴りの評価と対処方法に精通している耳鼻咽喉科医、並びにこれら医師の指導の下での聴覚ケアの専門家による調整を意図しています。耳鳴りサウンドサポートのフィッティングは、耳鳴り治療や対処に関わる補聴器専門スタッフによって行われなければなりません。

## 耳鳴りサウンドジェネレーター使用者のためのガイドライン

以下には耳鳴りサウンドサポートの使用方法に関する情報を記載しています。医師の指導の下、耳鳴りサウンドサポートが有効になっている場合にご参照ください。

耳鳴りサウンドサポートは、耳鳴り治療・対処療法のための機能です。耳の中で鳴る「キーン」という音や頭の中で鳴るノイズなどから意識をそらして緩和を助ける周波数帯域や音量で音を発生させます。

専門医は、適切なフォローアップケアの提案を行うことが出来ます。医師の助言や治療方針に従うことが重要です。

### 耳鼻咽喉科医による検査受診に基づく処方による使用のみ

耳鳴りの症状がある方はサウンドジェネレーターの使用を検討する前に耳鼻咽喉科医による検査受診が必要です。そのような検査受診の目的とは、耳鳴りを引き起こしている症状のうち治療可能な状態であるかどうかを確認し、治療可能なものについてはサウンドジェネレーターを使用する前に、適切な治療を行うためです。

## サウンドオプションおよび音量調節

耳鳴りサウンドサポートは、聴覚ケアの専門家によってお客様の聴力および耳鳴り緩和のための音の好みに合わせてプログラムされます。耳鳴りサウンドサポートは、複数のサウンドを提供します。専門家や補聴器専門スタッフとともにお客様の聞こえの好みに合うサウンドを選択します。

### 耳鳴りサウンドサポートプログラム

専門家とともに、耳鳴りサウンドサポートの中からどのプログラムを有効にするかを選択します。サウンドジェネレーター機能は最大4つまで、プログラムへの設定が可能です。

### 耳鳴りサウンドサポートの音量調節

耳鳴りサウンドサポートのプログラムを選択すると、補聴器のプッシュボタンによる音量調節は無効となり、耳鳴りサウンドサポートの音量変更のみが可能になります。

サウンドジェネレーターの音量調整の設定方法は次の2つです:

- A) 片耳ずつ音量を変更する。
  - B) 両耳同時に音量を変更する。
- これら2つの設定は、専門家が行います。

## ミニRITE R

<input type="checkbox"/>	<p><b>A) 耳鳴りサウンドサポートの音量を別個に片耳ずつ変更する方法</b> ボリュームを<b>上げる</b>には、好みの音量になるまで補聴器の上側のボタンを短く押してください。 ボリュームを<b>下げる</b>には、好みの音量になるまで補聴器の下側のボタンを短く押してください。</p>
<input type="checkbox"/>	<p><b>B) 耳鳴りサウンドサポートの音量を両耳同時に調節する方法</b> 両耳で補聴器を装用する際には、片側の補聴器のプッシュボタンを操作することで左右の補聴器の音量を同時に変更することが出来ます。 音量を<b>上げる</b>には、補聴器の上側のボタンを繰り返し短く押してください。 音量を<b>下げる</b>には、補聴器の下側のボタンを繰り返し短く押してください。</p>

専門家記入欄

## 使用時間の制限

### 日常の使用の注意点

耳鳴りサウンドサポートの音量は、長時間使用すると聴力低下を招く恐れのある、高出力音量までの設定が可能です。専門家による1日あたりの最大装用時間の指示に従ってください。不快な音量、また大きすぎる音量での使用は避けてください。

本書の「補聴器の設定」内の「耳鳴りサウンドサポート:補聴器設定ごとの使用上限」を参照し、安全に使用できる1日当たりの緩和音の上限時間をご確認ください。



## 耳鳴りサウンドサポートに関する重要な事項 (聴覚ケアの専門家の方へ)

### 耳鳴りサウンドサポートについて

耳鳴りサウンドサポートは、モジュール機能であり医師の指示の下、補聴器専門家によって機能の有効設定が可能です。

### 最大装用時間

耳鳴りサウンドサポートの最大装用時間は、音量を 80 dB (A) SPL 以上に設定すると短くなります。80dB (A) SPL 以上に設定を行うと、フィッティングソフトウェア上に自動的に警告メッセージが表示されます。フィッティングウェア上の耳鳴り対処用フィッティンググラフ横に表示される装用時間インジケータをご参照ください。

### 初期設定では音量調節が無効

初期設定では、サウンドジェネレーターの音量調節は無効になっています。音量調節を有効にすると騒音曝露の危険性が高まります。

### 音量調節が有効の場合

「ボタンと通知音」画面で耳鳴り対策音量コントロールを有効にすると警告が表示されることがあります。これは、聴覚障害を招き得る音量で緩和音を聞く場合に表示されます。このフィッティングソフトウェア上の「最大装用時間」の表は、患者が耳鳴りサウンドサポートを安全に使用できる上限を示したものです。

- プログラムごとに耳鳴りサウンドサポートの最大装用時間を確認してください。
- それらの値を本取扱説明書の最後にある「耳鳴りサウンドサポート：使用上限」に記入してください。
- 適切に使用するようにユーザーにご説明ください。

## ⚠ 耳鳴りサウンドサポートに関する注意点

医師並びにその指示の下、補聴器専門家によって耳鳴りサウンドサポートが有効に設定されている場合には、下記にご注意ください。

いかなる耳鳴り緩和用装置でも、装置から発生するサウンドの使用にあたっては、耳鳴りの悪化および聴力の変化などの懸念が伴います。

聴力や耳鳴りの変化、めまい、吐き気、頭痛、動悸、または補聴器装用による皮膚のかゆみなどを感じたら、すぐに補聴器の使用を中断し、医師または補聴器専門スタッフへご相談ください。

他の電子機器と同様に、サウンドジェネレーターを誤って使用すると、危険性を伴う影響があります。適切な使用方法を守り、子どもおよびペットの手の届かないようにご注意ください。

### 最大装用時間について

医師による指示に基づいて設定された耳鳴りサウンドサポートの一日当たりの最大装用時間を必ず守ってご使用ください。最大装用時間を超過した使用は耳鳴りの悪化および聴力の悪化に繋がる恐れがあります。

## ⚠ 注意事項

補聴器を正しくかつ安全にお使いいただくために、補聴器をお使いになる前に本取り扱い説明書の注意事項を正しくご理解いただいた上でご使用ください。

補聴器に関して予期しない動作や事象が発生した場合には、お買い上げの補聴器販売店へご相談ください。販売店は問題の対応のサポートを行います、必要に応じて関係当局に報告を行います。

補聴器は以前の聞こえに戻すものではなく、器質性疾患による聴力低下を防いだり治したりすることはできません。補聴器は聴覚利幅の一部であり、聴覚訓練や読唇術の指導で補う必要がある場合があります。又、補聴器

のメリットを最大限ご体感頂くために、日常的に装用してください。

当該補聴器は、取り外しできないリチウムイオンバッテリーセルを使用しています。充電式補聴器に関する安全や取扱についてご理解いただいた上で補聴器を充電してください。

補聴器の電池蓋を開けたり、内蔵の充電電池を取り外したりしないでください。電池交換は訓練を受けた専門家がが行う必要があります。

必ず専用の充電器で充電してください。その他の方法で充電すると補聴器と充電器の故障の危険性があります。

充電電池や補聴器を誤って飲み込んだ場合には、すぐに医療機関を受診してください。

### 補聴器の使用について

販売店において調整された補聴器を指示通りにお使いください。間違った使用方法によって、聴力低下の原因になる場合があります。

ご自身の補聴器は絶対に他の人に使用させないでください。補聴器はおお客様の聴力に合わせて調整されています。したがって間違った使用は聴覚器官を傷める原因となります。

### 補聴器・電池の誤飲と窒息の危険性について

補聴器やその部品、電池は幼児やあやまってこれらを飲み込む危険性のある人の手の届かない場所へ置いてください。

### 爆発

通常の使用状態において、この補聴器の電源は、発火の誘引となるエネルギーはありません。爆発的雰囲気に関する国際規格に適合する試験を実施してません。

そのため、爆発の危険がある環境(例：鉱山、酸素が豊富な環境、可燃性麻薬を取り扱う場所)で補聴器を使用しないでください。

## ⚠ 注意事項

### リチウムイオン電池を飲み込むこと及び、耳や鼻に入れることの命に関わる危険性

リチウムイオン電池を飲みこんだり、耳や鼻に入れることは絶対に避けてください。2時間以内に重篤な損傷または死亡に至る危険性があります。これは科学的熱傷により、耳や鼻への恒常性の損傷や、潜在的に内臓への穿孔につながるためです。リチウムイオン電池を飲み込んだり、耳や鼻に入ってしまった場合は、直ちに緊急救命を受診してください。

### 充電

補聴器の電池蓋を開けようとしないでください。電池を傷める可能性があります。

電池を自身で交換しないでください。電池交換が必要な場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。改ざんの兆候がある場合は、保証対象外となります。

USBケーブルによる外部機器との接続の安全性は、接続された外部信号に影響されます。本製品に外部電源をつなげた状態で接続する機器は、IEC-62368または同等の規格に適合している必要があります。

### 機能停止の可能性

補聴器は警告音なしに機能を停止する可能性があります。警告音で動作状況を判断している場合には特に留意ください。(例：交通量のある道路沿いなど) 電池切れ、スピーカーな

どへの水分の付着や耳垢などによって補聴器が機能を停止する可能性があります。

### 体内埋め込み型(能動型)機器に関して

お使いの補聴器は、人体への電磁力および電圧誘導の人体曝露に関する国際基準(比吸収率 - SAR)に基づき人の健康に対して徹底的に試験・特性評価されています。

この曝露値は、人間の健康基準およびペースメーカーや心臓除細動器などの能動的な医療用インプラントとの共存で定義された、人体へのSAR、誘発電磁力および電圧誘導の国際的に許容される安全限界を大きく下回っています。

能動型脳インプラントをご使用の場合には、埋め込み型機器のメーカーに干渉の危険性に関してお問い合わせください。

埋め込み型機器をオートフォン用磁石や内蔵磁石のあるお手入れ用ブラシを30cm以上近づけないでください。(例：胸ポケットなどに入れて持ち歩かない等)

一般に、磁石を使用する場合は、埋め込み型除細動器およびペースメーカーのメーカーが推奨するガイドラインに従ってください。

### 人工内耳に関して

人工内耳(CI)と補聴器を片耳ずつ装用される場合、CIのアンテナおよび磁石と、補聴器とを必ず安全な距

## ⚠ 注意事項

離に保ってください。CIの磁石の磁力は補聴器のスピーカーユニットに恒常的な損傷を与えます。お手入れや電池交換の時に両機器を近づけないようにしてください。CIと補聴器を同じ容器などに入れて持ち運ばないでください。

### レントゲン/CTスキャン/MRI/PETなどの検査や電気療法をする際の注意

レントゲンやCTスキャン、MRI、PETスキャンなどの検査、または電気療法や手術などの治療を行っている際には、補聴器が故障することがありますので、補聴器をはずしてください。

### 高温や薬品等避ける

補聴器を火に近づけたり炎天下の車内など高温の場所に長時間放置しないでください。

補聴器を電子レンジやオーブンなどに入れないでください。

補聴器を装用したまま、ヘアスプレー、香水、アフターシェーブ、虫除けスプレーなどを使用しないでください。使用する場合には補聴器を外してください。それらが完全に乾いてから補聴器を使用してください。

### パワー型補聴器の取扱い注意点

最大出力が132dB SPL (IEC711) を超える補聴器に関しては、大きな音が出ますので、取り扱いに十分にご注意ください。聴力に合わせた適切な器種の選択や調整が行われていないと、聴力低下を招く恐れがあります。

お使いの補聴器がパワー型の補聴器であるかどうかについては当該取り扱い説明書の最初のページを参照してください。

### 起こりうる副作用

補聴器、モールドやドームを使い始めると耳垢が出やすくなることがあります。

お買い上げの補聴器はアレルギー誘発性物質を排除していますが、まれ

に耳の中にかゆみを生じたりや通常とは異なる状態が発生する可能性があります。

耳に何らかの異常を感じた場合は、耳鼻科医へご相談ください。

### 航空機内での使用

お使いの補聴器はBluetooth通信機能を搭載しているため、許可のない限り、機内では機内モードをオンにしなくてはなりません。

### 外部機器との接続について

本製品と外部電源に（AUX入力端子やUSBまたは直接）つなげた機器との接続の安全性は、接続された外部信号に影響されます。本製品に外部電源をつなげた状態で接続する機器

は、IEC-62368または同等の規格に適合している必要があります。

### 非同梱品との非互換性について

本製品メーカーより供給されたアクセサリ、トランスデューサー、ケーブルを使用ください。非互換製品の使用は電磁ノイズの増加や電磁ノイズに対する電気・電子機器の耐性の低下につながる恐れがあります。

### 変更・修正の禁止

メーカーよって明示的に承認されていない変更または修正は、機器を操作するためのユーザーの権限を無効にする可能性があります。

### 干渉

この補聴器は、最も厳しい国際基準に従って電磁波干渉について徹底的に品質検査が行われています。

上記記号のある装置の近くでは、電磁干渉が発生する場合があります。ポータブルおよびモバイルRF（無線周波数）通信機器は、補聴器の性能に影響を与える可能性があります。補聴器が電磁干渉の影響を受ける場合、干渉を減らすために干渉原因から遠ざけてください。

## トラブルシューティング / 故障と思われるときの対処法

充電器に関わるトラブルシューティングは、充電器の取扱説明書を参照ください

症状	可能性のある原因	対策
音が出ない	補聴器の電源切れ	補聴器を充電する
	充電機の容量がない	お買い上げ販売店へ連絡をする
	イヤピースの音の出口が詰まっている(ドーム類、グリップチップ、マイクロモールド)	イヤモールドを掃除する 耳垢防止フィルター、ドームまたはグリップチップを交換する
プツプツ音がする、音が弱い	音の出口が詰まっている	モールドを掃除する、または耳垢防止フィルター、ドームまたはグリップチップを交換する
	湿気	電池と補聴器を柔らかい布で拭く、補聴器を乾燥ケースで十分に乾かす
	補聴器の電源切れ	補聴器を充電する
ピーピー音がする	補聴器がきちんと耳に入っていない	補聴器を入れ直す
	耳の中に耳垢が詰まっている	耳鼻科医を受診する
ビープ(警告)音が聞こえる(サービスリペアモード)	補聴器から連続したビープ音が、4回にわたって聞こえた場合には、補聴器のアンプユニットのチェックが必要です	お買い上げ販売店へ連絡をする

以上で解決しない場合には、お買い求めの販売店にご相談ください。

## トラブルシューティング / 故障と思われるときの対処法

充電器に関わるトラブルシューティングは、充電器の取扱説明書を参照ください

症状	可能性のある原因	対策
充電器にセットしても補聴器のLEDが点灯しない	充電器が外部電源につながっていない	正しく外部電源に接続していることを確認する
	補聴器または充電器が過度に熱い又は冷たい	充電器と補聴器を+5℃～+40℃の温度環境にする
	充電が不十分。室温が+35℃を超える場合、充電時間が通所より長くかかっている。充電機を保護するため充電プロセスを停止する。	再度補聴器を充電器にセットする。この場合充電は約15分で完了する
	補聴器が正しく充電器にセットされていない	補聴器の設置位置に異物がないか確認する
充電器にセットした際に補聴器のLEDが赤色/オレンジ色に点滅する	システムエラー	お買い上げ販売店へ連絡をする
Apple社機器とのペアリングの問題について	Bluetoothの接続が失敗した	1) 補聴器とのペアリングを解除 (設定→一般→アクセシビリティ→MFiヒアリングデバイス→デバイス→このデバイスの登録の解除) 2) ブルートゥース設定をいったんオフにして再度オンにする 3) 補聴器の電池ぶたの開閉を行う 4) 補聴器ペアリングの再設定を行う (iPhoneとのペアリングのしかたの項を参照ください)
	片方の補聴器のみペアリングがされている	

以上で解決しない場合には、お買い求めの販売店にご相談ください。



## より良い聞こえのための7つの簡単なステップ

補聴器を装着し始めて数日から数週間は、特に補聴器を初めて使用される方は、耳慣れない音が聞こえてきます。下記のステップで、新しい音や長い間聞いていなかった音に慣れていくことができます。

### ①家の静かな所での練習

家などの静かな所で補聴器をつけ、新たに聞こえてくるいろいろな音に慣れましょう。新しく聞こえる音が何の音なのかを一つ一つ確かめてみましょう。今まで聞こえていた音も補聴器で聞くと感じが違って聞こえることがあります。徐々に周囲の音に慣れていきます。

補聴器を使っていて疲れを感じる時は、少し休んでください。徐々に補聴器の音に慣れるのに従い長時間装着することができるようになり、一日中快適に装着できるようになります。

### ②一対一の会話

まず、静かな部屋で、顔の表情を読み取りやすいように、向かい合って座ってください。最初は少し大きく騒がしく感じるくらいの、いつもとは違った新しい会話の音が聞こえてきます。けれども、脳がその新しい音声に適応していくにつれて、人の声が以前よりも鮮明に聞こえるようになります。

### ③ラジオやテレビを聴きましょう

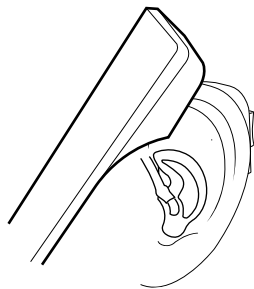
始めは言葉が聞き取りやすいニュース番組を聞いてください。そして、他の番組をお試しください。

### ④数人での会話

レストランなどで数人で会話をしているときなどは、ふつう周囲の雑音が大きく聞き取りが難しくなります。話している人に注意を集中してみてください。その人の話が分かりますか。周りに雑音がある場合には、なかなか聞き取りが難しいと思いますが、そのような時は遠慮なく聞き返してください。

### ⑤ 電話で話す

補聴器を装着したまま電話をかける時には、受話器の上側のふちを頬骨に沿って軽くあてるようにして持ち、電話の受話器からの音が補聴器のマイクに直接入るようにします。こうすると、ピーピー音がならず、会話を聞くことができます。この持ち方をしたときには、電話の相手に良く聞こえるように受話器のマイクに直接話しかけるようにしてください。



### ⑥ 携帯電話など

お買い上げの補聴器は、国際EMC（電磁両立性）規格に適合しています。しかしながら、携帯電話の種類やメーカーによっては、補聴器にノイズが入るかもしれませんが、故障ではありません。

### ⑦ 補聴器を常時装用するように心がける

より良い聞こえを実現するためのベストな方法は、一日中補聴器を使用することができるまで、補聴器をつけて聞く練習をすることです。補聴器はその音に慣れていただくことによって、より効果が発揮できます。

補聴器を装用することによって以前の聞こえが戻るわけではありません。また、補聴器は難聴を予防したり、治すことはできません。しかし、お客様の聞こえの力をサポートすることができます。両耳に補聴器をご購入の場合は、2つとも装用してください。

装用中に違和感を感じた場合には販売店へご相談ください。

## 防塵・防水対応について (IP68)

お買い上げいただきました補聴器は日常防水対応の補聴器です。同補聴器は防水・防塵の指標となる国際規格を取得しておりますが、完全防水ではありません。

補聴器が水に触れて作業を停止した場合は、水をやさしく拭き取り、補聴器を乾かしてください。

充電を開始する前に水気を拭き取ってください。

### 重要なお知らせ

入浴時や水泳、シュノーケリング、ダイビングなどのスポーツを行う際には補聴器を外してください。補聴器を水やその他の液体に浸すことはおやめください。

## 動作環境について

動作環境条件	温度: +5℃ ~ +40℃ 湿度: 5% ~ 93%RH、ただし結露しないこと
充電環境条件	温度: +5℃ ~ +40℃ 湿度: 5% ~ 93%RH、ただし結露しないこと
保管条件および 輸送条件	保管および輸送の際、温度と湿度は以下の範囲を超えないこと:  輸送: 温度: -20℃ ~ +60℃ 湿度: 5% ~ 93%RH、ただし結露しないこと  保管: 温度: -20℃ ~ +30℃ 湿度: 5% ~ 93%RH、ただし結露しないこと

充電器に関する情報: 動作環境については充電器の取扱説明書を参照ください。

## 保証とアフターサービス

### 保証書について

この取り扱い説明書には保証書に関する記載が記されています。製品保証書は必ず「販売店名、購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容などをよくお読みいただき大切に保管してください。

### 国際保証について

日本国外でも保証条件を満たしたものは、無料修理が可能です。修理に際しましては、国際保証カードの提示が必要になります。国際保証カードが必要な場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

### 故障などの場合

この補聴器の補修用部品の保有期間は製造中止後5年間となります。補修用部品はこの補聴器の機能を維持するために必要な部品です。補聴器の故障、また不具合が生じた場合には、お買い求めの販売店へお持ちください。

### 修理を依頼される時

修理を依頼される前に本取扱説明書の60ページに従ってご確認ください、なお異常がある場合には、使用を中止しお買い上げの販売店へご依頼ください。

#### ○保証期間中は

お買い上げの販売店まで保証書をそえて補聴器をご持参ください。

#### ○保証期間を過ぎている場合は

お買い上げの販売店に御相談ください。修理によって補聴器の性能が維持できる場合には、ご希望に応じて有料修理を承ります。

修理・お手入れ・お取り扱いに関するご相談は、まずお買い求めの販売店へご相談ください。

デマント・ジャパン株式会社

カスタマーサービスのご案内

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町580番地ソリッドスクエア西館16階

電話:044-543-0615 FAX:044-543-0616

受付時間 平日9:30~17:30 (土日祝日を除く)

e-mail: info@oticon.co.jp

※所在地、電話番号、受付時間などが変更になる場合がございます。

## 国内保証

取扱説明書の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障が生じた場合には、お買い上げ補聴器の無料修理を保証いたします。

1. 無料修理をご依頼になる場合には補聴器保証書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
2. ご転居などの事情によりお買い上げの販売店に無料修理をご依頼にできない場合には、お買い上げ販売店または弊社カスタマーサービスまでご相談ください。
3. 当該保証期間を経過した補聴器の修理は有料となります。
4. 無償保証期間内でも、下記の場合には有料となります。
  - A) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
  - B) お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
  - C) 補聴器保証書の提示のない修理。
  - D) 地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）などによる故障または損傷の修理。（お買い上げ保険が指定する補償条件を除く）
5. 修理後3カ月以内に生じた同一箇所の故障は無料にて修理いたします。
6. オーダーメイドのシェル交換につきましては、当社が販売店に別途定める条件に基づくものとし、本保証書の適用は例外になります。
7. 補聴器保証書は日本国内においてのみ有効です。日本国外での保証に関しましては国際保証についての記載をご参照ください。
8. 補聴器保証書は再発行致しませんので大切に保管してください。

### お買上保険特約

お買い上げいただいた補聴器が火災・盗難にあった場合、お買い上げ日より1年間無料修理・または同一器種または弊社が規定する器種再交付の補償をいたします。また同一器種または弊社規定の補聴器の再交付に際しては、保証書の付与はありません。

### 補償内容

火災：無償修理または同一器種または弊社が規定する器種の再交付  
盗難：同一器種または弊社が規定する補聴器の再交付

### 補償の対象とならないもの

○地震・噴火・水害、落雷、その他天災地変による損害・故意・過失・置き忘れ紛失等による損害、電氣的・機械的的事故による損害

### お買上保険特約請求に必要な書類

- 補聴器保証書
- 火災の場合：消防署発行の罹災証明書
- 盗難の場合：警察署に提出された盗難届の写し

## 国際保証

### 日本国外における保証（制限付き保証）

日本以外の国における本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証対象は、電池や耳垢防止フィルターといったアクセサリパーツを除く機器本体となります。国際保証カードに「販売店名」、「お買い上げ日」の記載があることを確認の上、大切に保管してください。国際保証カードが必要な場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。当該規定は弊社の国際保証規定により修理をお約束するものであり、法律上のお客様の権益を制限するものではありません。

お客様の誤った使用・過失・改造による故障および損傷に対しての修理、耳の状態変化、異物の混入による損傷に対しては、保証期間内であっても保証適用外となり修理をお断りする場合がございます。販売店によってはこの制限付き保証書の条項を越えた保証を提供する場合があります。詳しくは販売店までお問い合わせください。

### 日本国外において調整サービスを必要とする場合

補聴器販売店また補聴器販売に関わる専門家のもとに、補聴器をお持ちください。補聴器の軽微な修理サービスや調整をその場で受けることが可能です。一部に国際保証サービスをご提供できない拠点があります。サービス提供の有無については販売店までお問い合わせください。

## 性能一覧表

miniRITE R ( OpnS 1 , OpnS 2 , OpnS 3 , Opn Play 1 , Opn Play 2 , Ruby1 , Ruby 2 )  
 <イヤホン60(スピーカー60)>

### ●特性

使用電池の種類、形式、及び電圧	リチウムイオン電池 Z22 3.8V	電池電流	0.63mA 以下
規 準 周 波 数	1600Hz	全 高 調 波 歪	500Hz : 2%未満+3%以下 800Hz : 2%未満+3%以下 1600Hz : 2%未満+3%以下
90dB最大出力 音 圧 レ ベ ル	レスポンス図 高周波数平均値: 102dB±4dB SPL ピーク値: 105dB+3dB SPL 以下		自動利得調整器 (AGC)
最大音響利得	レスポンス図 高周波数平均: 30dB±5dB ピーク値 : 35dB+3dB 以下	誘導コイル入力の 最大感度レベル (HFA-MASL)	60dB±6dB
規 準 周 波 数 レ ス ポ ン ス 曲 線	レスポンス図 帯域幅: <200Hz , >5000Hz 規 準 利 得 : 26dB	試験用ループに対する 等価感度 (ETLS)	0dB±4dB
等価入力雑音レベル	OpnS1/Opn Play1: 18dB+3dB 以下 OpnS2/OpnS3/Opn Play2: 19dB+3dB 以下		

2CC カプラーを使用して測定表示してあります。

## 性能一覧表

miniRITE R ( OpnS 1 , OpnS 2 , OpnS 3 , Opn Play 1 , Opn Play 2 , Ruby1 , Ruby 2 )  
 <イヤホン85(スピーカー85)>

### ●特性

使用電池の種類、形式、及び電圧	リチウムイオン電池 Z22 3.8V	電池電流	0.63mA 以下
規 準 周 波 数	1600Hz	全 高 調 波 歪	500Hz : 2%未満+3%以下 800Hz : 2%未満+3%以下 1600Hz : 2%未満+3%以下
90dB最大出力 音 圧 レ ベ ル	レスポンス図 高周波数平均値: 112dB±4dB SPL ピーク値: 116dB+3dB SPL 以下		自動利得調整器 (AGC)
最大音響利得	レスポンス図 高周波数平均: 47dB±5dB ピーク値 : 54dB+3dB 以下	誘導コイル入力の 最大感度レベル (HFA-MASL)	77dB±6dB
規 準 周 波 数 レ ス ポ ン ス 曲 線	レスポンス図 帯域幅: <200Hz , >5000Hz 規 準 利 得 : 34dB	試験用ループに対する 等価感度 (ETLS)	1dB±4dB
等価入力雑音レベル	OpnS1/OpnPlay1: 20dB+3dB 以下 OpnS2/OpnS3/OpnPlay2: 21dB+3dB 以下		

2CC カプラーを使用して測定表示してあります。

## 性能一覧表

miniRITE R ( OpnS 1 , OpnS 2 , OpnS 3 , Opn Play 1 , Opn Play 2 , Ruby1 , Ruby 2 )  
 <イヤホン100 (スピーカー100)>

### ●特性

使用電池の種類、形式、及び電圧	リチウムイオン電池 Z22 3.8V	電池電流	0.63mA 以下
規 準 周 波 数	1600Hz	全 高 調 波 歪	500Hz : 2%未満+3% 以下 800Hz : 2%未満+3% 以下 1600Hz : 2%未満+3% 以下
90dB最大出力 音 圧 レベル	レスポンス図 高周波数平均値 : 118dB±4dB SPL ピーク値 : 122dB+3dB SPL 以下		自動利得調整器 (AGC)
最大音響利得	レスポンス図 高周波数平均 : 51dB±5dB ピーク値 : 57dB+3dB 以下	誘導コイル入力の 最大感度レベル (HFA-MASL)	82dB±6dB
規 準 周 波 数 レ ス ポ ン ス 曲 線	レスポンス図 帯域幅 : <200Hz , >5000Hz 規 準 利 得 : 42dB	試験用ループに対する 等価感度 (ETLS)	1dB±4dB
等価入力雑音レベル	19dB+3dB 以下		

2CC カプラーを使用して測定表示してあります。

## 性能一覧表

miniRITE R ( OpnS 1 , OpnS 2 , OpnS 3 , Opn Play 1 , Opn Play 2 , Ruby1 , Ruby 2 )  
 <イヤホン105 (スピーカー105)>

### ●特性

使用電池の種類、形式、及び電圧	リチウムイオン電池 Z22 3.8V	電池電流	0.63mA 以下
規 準 周 波 数	1600Hz	全 高 調 波 歪	500Hz : 2%未満+3% 以下 800Hz : 2%未満+3% 以下 1600Hz : 2%未満+3% 以下
90dB最大出力 音 圧 レベル	レスポンス図 高周波数平均値 : 122dB±4dB SPL ピーク値 : 127dB+3dB SPL 以下		自動利得調整器 (AGC)
最大音響利得	レスポンス図 高周波数平均 : 57dB±5dB ピーク値 : 64dB+3dB 以下	誘導コイル入力の 最大感度レベル (HFA-MASL)	88dB±6dB
規 準 周 波 数 レ ス ポ ン ス 曲 線	レスポンス図 帯域幅 : <200Hz , >5000Hz 規 準 利 得 : 46dB	試験用ループに対する 等価感度 (ETLS)	0dB±4dB
等価入力雑音レベル	18dB+3dB 以下		

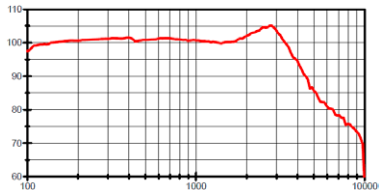
2CC カプラーを使用して測定表示してあります。



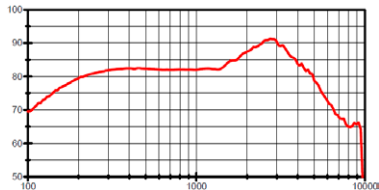
## 特性表

Opn S1 miniRITE R, Opn Play1 miniRITE R <イヤホン60(スピーカー60)>

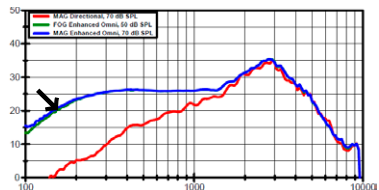
### ●90dB最大出力音圧レベル



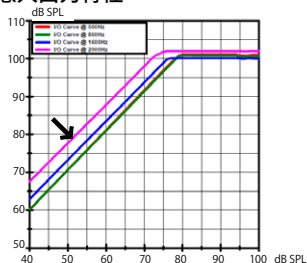
### ●周波数特性



### ●最大音響利得



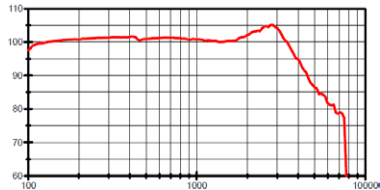
### ●定常状態入出力特性



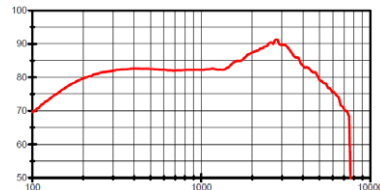
## 特性表

Opn S2 miniRITE R, Opn S3 miniRITE R, Opn Play2 miniRITE R,  
Opn Ruby1 miniRITE R, Opn Ruby2 miniRITE R <イヤホン60(スピーカー60)>

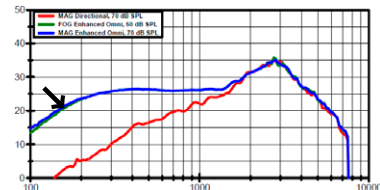
### ●90dB最大出力音圧レベル



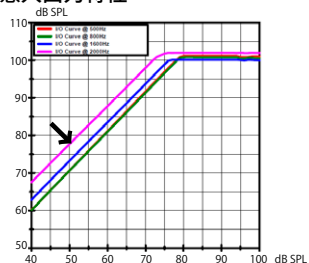
### ●周波数特性



### ●最大音響利得



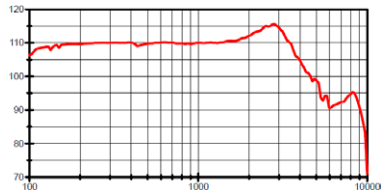
### ●定常状態入出力特性



## 特性表

Opn S1 miniRITE R, Opn Play1 miniRITE R <イヤホン85 (スピーカー85)>

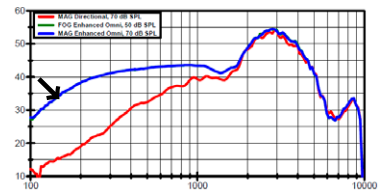
### ●90dB最大出力音圧レベル



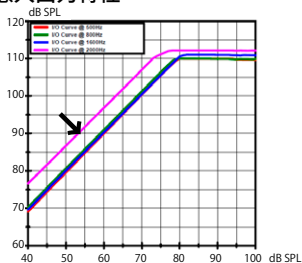
### ●周波数特性



### ●最大音響利得



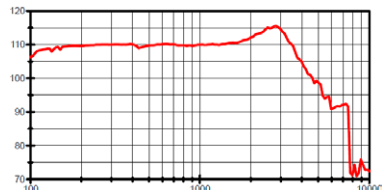
### ●定常状態入出力特性



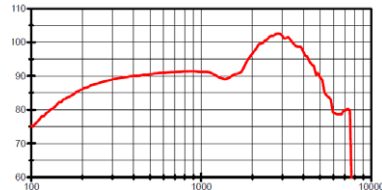
## 特性表

Opn S2 miniRITE R, Opn S3 miniRITE R, Opn Play2 miniRITE R,  
Opn Ruby1 miniRITE R, Opn Ruby2 miniRITE R <イヤホン85 (スピーカー85)>

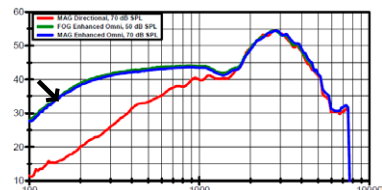
### ●90dB最大出力音圧レベル



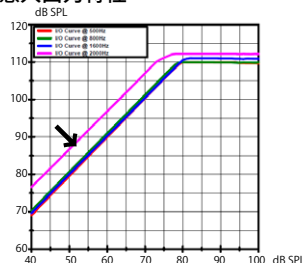
### ●周波数特性



### ●最大音響利得



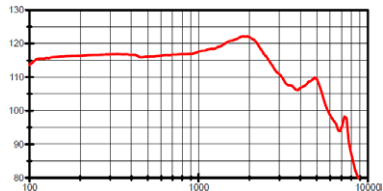
### ●定常状態入出力特性



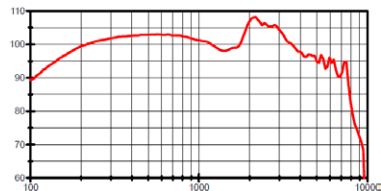
## 特性表

Opn S1 miniRITE R, Opn Play1 miniRITE R <イヤホン100(スピーカー100)>

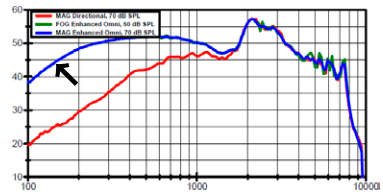
### ●90dB最大出力音圧レベル



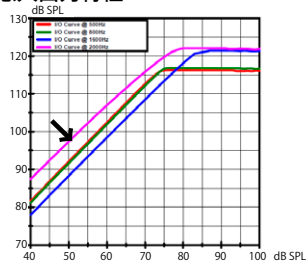
### ●周波数特性



### ●最大音響利得



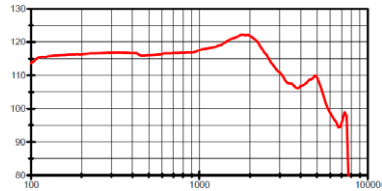
### ●定常状態入出力特性



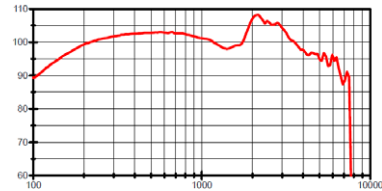
## 特性表

Opn S2 miniRITE R, Opn S3 miniRITE R, Opn Play2 miniRITE R,  
Opn Ruby1 miniRITE R, Opn Ruby2 miniRITE R <イヤホン100(スピーカー100)>

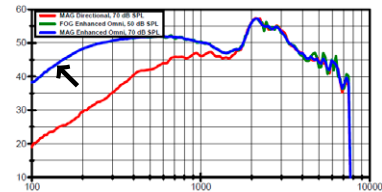
### ●90dB最大出力音圧レベル



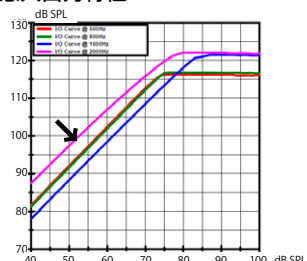
### ●周波数特性



### ●最大音響利得



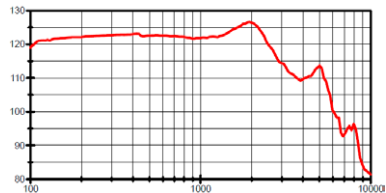
### ●定常状態入出力特性



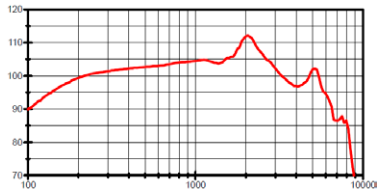
## 特性表

Opn S1 miniRITE R, Opn Play1 miniRITE R <イヤホン105 (スピーカー105)>

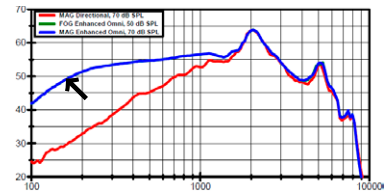
### ●90dB最大出力音圧レベル



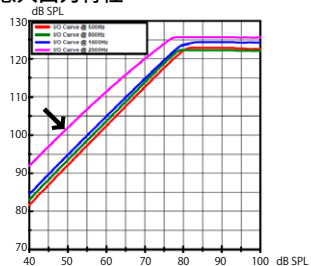
### ●周波数特性



### ●最大音響利得



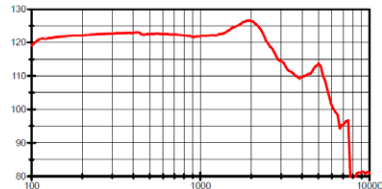
### ●定常状態入出力特性



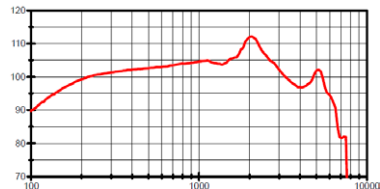
## 特性表

Opn S2 miniRITE R, Opn S3 miniRITE R, Opn Play2 miniRITE R,  
Opn Ruby1 miniRITE R, Opn Ruby2 miniRITE R <イヤホン105 (スピーカー105)>

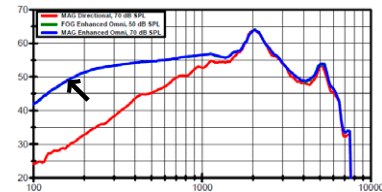
### ●90dB最大出力音圧レベル



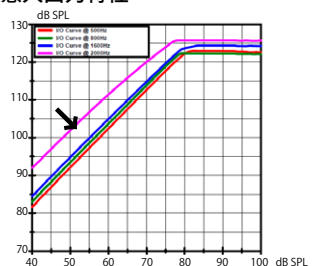
### ●周波数特性



### ●最大音響利得



### ●定常状態入出力特性



## 技術適合基準、安全基準および認可番号

本製品には、下記の2つの無線送信機が搭載されています:

3.84MHzの短距離磁界誘導技術を使用した無線送信機を搭載しています。送信機の磁場の強さは非常に低く-40 dB $\mu$ A/m@10m以下です。

また、ISMバンドである2.4GHz周波数帯を利用したBluetooth Low Energy(BLE)及び独自の短距離無線技術を使用した無線送信機も搭載しています。2.4GHz送信機の全放射電力でのEIRP (EIRP:実効等方放射電力)は常に4dBm以下です。

本製品は、電磁両立性と人体への曝露に関する国際的な規格に適合しています。

本製品は大きさが限られているので、認可規格の表示は本書に示されています。

追加情報は「テクニカルデータシート」を参照ください。

メーカーは、本製品が2014/53/EU指令の基本要件及びその他の関連規定に準拠していることを宣言します。

本製品に関する適合宣言は、製造者より入手可能です。



Manufactured by:  
Oticon A/S  
Kongebakken 9  
DK-2765 Smørum  
Denmark  
[www.oticon.global](http://www.oticon.global)

CE 0543









Waste from electronic equipment must be handled according to local regulations.

 Bluetooth®



IP68

## 本書で使用される凡例

	<b>注意事項</b> 本記号の記された事項は、製品の使用前に必ずお読みください。
	<b>メーカー</b> 本製品メーカーの名称と住所は記号の横に記載されています。これは欧州指令 90/385/EEC、93/42/EEC、98/79/EC に定義されている通りの医療機器メーカーであることを示します。
	<b>CE mark</b> 0543 欧州指令 EU Medical Devices Directive 93/42/EEC を満たしています。
	<b>Electronic waste (WEEE) / 廃棄</b> Recycle hearing aids, accessories or batteries according to local regulations. Hearing aid users can also return electronic waste to their hearing care professional for disposal. Electronic equipment covered by Directive 2012/19/EU on waste and electrical equipment (WEEE). 本記号は、補聴器やその付属品、電池を通常と異なる廃棄物の処分が求められる可能性があることを示します。処分される際はお住いの自治体が定める方法に従ってください。
	<b>Regulatory Compliance Mark (RCM)</b> The device complies with electrical safety, EMC and radio spectrum requirements for devices supplied to the Australian or New Zealand market.
	<b>二重絶縁</b> 電源に対して二重絶縁であることを示します。これは、単一障害が発生する可能性が非常に低いことを意味します。

	<b>屋内使用のみ</b> 製品が屋内使用に適していることを示します。
	<b>IPコード</b> 本記号は有害な水や粒子分子の侵入に対する、EN 60529:1991/A1:2002 に準じた保護等級を示します。 IP6X は完全な防塵保護を示します。 IPX8 は継続して水に浸された場合の保護を示します。
	<b>Bluetooth のロゴ</b> Bluetooth SIG, Inc の登録商標であり、これを使用するにはライセンスを要します。
	<b>Made for Apple / バッジ</b> デバイスが iPhone、iPad、iPod touch に対応していることを示します。
	<b>ヒアリンググループ</b> このロゴは補聴を表す普遍的なシンボルです。「T」の文字はヒアリンググループが設置されていることを示します。
	<b>無線周波数 (RF) トランスミッター</b> 本製品は RF トランスミッターを搭載しています。
	<b>Global Trade Item Number (GTIN)</b> 医療機器用ソフトウェアを含む医療機器を識別するための14桁のグローバル識別コードです。本書に記載されるGTINは医療機器ファームウェアに関連します。法規パッケージラベル上に記載のGTINは医療機器ハードウェアに関連します。

### パッケージラベルで使用される凡例



#### 湿気厳禁

湿気から保護する必要のある医療機器を示します。



#### 注意

取扱説明書の警告と注意を御覧ください。



#### カタログ番号

医療機器を識別するためのメーカーのカタログ番号を示します。



#### シリアル番号

特定の医療機器を識別するためのメーカーのシリアル番号を示します。



#### 使用期限

医療機器が使用されなくなる日付を示します。



Li-ion

#### 電池リサイクル記号

Li-ion電池のリサイクル記号です。



#### 温度限界

医療機器を安全に運用できる温度限界を示します



#### 湿度限界

医療機器を安全に運用できる湿度限界を示します

## 補聴器の設定

専門家記入欄

耳鳴りサウンドサポート: 使用上限			
<input type="checkbox"/>	使用上限なし		
	プログラム	適正音量 (耳鳴り)	最大音量 (耳鳴り)
<input type="checkbox"/>	1	1日最大 _____ 時間	1日最大 _____ 時間
<input type="checkbox"/>	2	1日最大 _____ 時間	1日最大 _____ 時間
<input type="checkbox"/>	3	1日最大 _____ 時間	1日最大 _____ 時間
<input type="checkbox"/>	4	1日最大 _____ 時間	1日最大 _____ 時間

215322JP/2020.02.28

補聴器設定の概要								
左			右					
<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ	音量調節	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ	プログラム切り替え	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ	耳鳴りサウンドサポート	<input type="checkbox"/>	はい	<input type="checkbox"/>	いいえ
音量調節インジケータ								
<input type="checkbox"/>	On	<input type="checkbox"/>	Off	最小/最大音量でのビープ音	<input type="checkbox"/>	On	<input type="checkbox"/>	Off
<input type="checkbox"/>	On	<input type="checkbox"/>	Off	音量変更時のビープ音	<input type="checkbox"/>	On	<input type="checkbox"/>	Off
<input type="checkbox"/>	On	<input type="checkbox"/>	Off	適正音量でのビープ音	<input type="checkbox"/>	On	<input type="checkbox"/>	Off
電池残量インジケータ								
<input type="checkbox"/>	On	<input type="checkbox"/>	Off	電池切れ警告	<input type="checkbox"/>	On	<input type="checkbox"/>	Off

215322JP/2020.02.28



## 通知音とLED表示

補聴器の状態毎に、通知音とLED表示が設定されます。各設定は次ページに表記されています。

お客様の補聴器の通知音とLED表示の設定について、補聴器専門スタッフに記入を依頼してください。

充電器のLED表記については、充電器の取扱説明書を参照ください。

プログラム切り替え	<input type="checkbox"/> 左	<input type="checkbox"/> 右	<input type="checkbox"/> 短く押す	<input type="checkbox"/> 長押し
-----------	----------------------------	----------------------------	-------------------------------	------------------------------

プログラム	通知音パターン	LED表示	LED表示について
1	ビーブ音 1回	○	連続点滅又は、1拍間隔をおいて3回点滅
2	ビーブ音 2回	○○	
3	ビーブ音 3回	○○○	
4	ビーブ音 4回	○○○○	
ワイヤレスアクセサリ 使用時補聴器マイクをオフ	ビーブ音 2回	▭○	
ワイヤレスアクセサリ 使用時補聴器マイクをオン	ビーブ音 2回	○▭	
機内モード	通知音パターン	LED表示	
機内モード オン	ビーブ音 4回、 短いメロディ音	▭○●●	
機内モード オフ	ビーブ音 4回、 メロディ音	▭▭▭	

○ 緑色、早い点滅    ▭ 緑色、ゆっくり点滅    ● 赤色/オレンジ色、早い点滅  
 ▭ 赤色/オレンジ色、ゆっくり点滅

電源	通知音パターン	LED表示	LED表示について
電源オン	<input type="checkbox"/> メロディ音	<input type="checkbox"/>	1回のみ
電源オフ	<input type="checkbox"/> 下降音4回	<input type="checkbox"/>	
音量	通知音パターン	LED表示	LED表示について
適正音量	<input type="checkbox"/> ビープ音2回	<input type="checkbox"/>	1回のみ
最小/最大音量	<input type="checkbox"/> ビープ音3回	<input type="checkbox"/>	
音量を上げる/下げる	<input type="checkbox"/> ビープ音1回	<input type="checkbox"/>	
ON アプリ、コネクタクリップ、リモートコントロール3.0を操作して消音機能をオン		<input type="checkbox"/>	連続点滅又は、1拍間隔を置いて3回点滅

緑色、早い点滅 緑色、ゆっくり点滅 赤色/オレンジ色、早い点滅

赤色/オレンジ色、ゆっくり点滅

音量調節

左

右

短く押す

警告	通知音パターン	LED表示	LED表示について
電池残量低下	<input type="checkbox"/> ビープ音3回	<input type="checkbox"/>	継続的に繰り返す
電池残量無し	<input type="checkbox"/> 下降音4回		
サービスリペアモード	<input type="checkbox"/> ビープ音8回を4回繰り返す	<input type="checkbox"/>	断続的に4回繰り返す
充電器にセットした状態で、LED表示が動作しない		無灯	トラブルシューティングを参照ください
充電器にセットした状態で、LED表示が赤色/オレンジ色に点滅			継続的に繰り返す トラブルシューティングを参照ください

赤色/オレンジ色、早い点滅 赤色/オレンジ色、ゆっくり点滅

製造販売業者:デマント・ジャパン株式会社  
一般的名称:耳かけ型補聴器  
販売名:ベロックス耳かけ型  
認証番号:228AIBZX00015000



**oticon**  
life-changing technology